

加齢性のシミ・イボについて

脂漏性角化症（しろうせいかくかしょう）

- 脂漏性角化症（しろうせいかくかしょう）は、**老人性のいぼ**と呼ばれ、30代以降の男女にみられる皮膚の老化現象の一種です。



- 自然になくなることはなく、加齢とともに大きくなります。洗顔や髭剃りの際にひっかかり、出血を繰り返したり、かゆみが出てきたりする場合があります。



- 首のまわりに多発するイボは、**アクロコルドン**と呼ばれ、病理組織学的には脂漏性角化症と軟性線維腫の場合があります。



- これらのできものは放っておいても健康上問題になる事はあまりないのですが、整容的に問題になる事があります。首元が広く開いたシャツを着るのを避けるようになる方、首まわりを隠すのにスカーフが手放せなくなる方、ネックレスなどのアクセサリーは引っかかるので使えないといった方がいます。

- 治療は、炭酸ガスレーザー照射や電気凝固療法により、腫瘍を削り取る場合がほとんどですが、腫瘍が真皮内へ深く達するものなどは切除手術を行うことがあります。
- いずれにしても、日帰り手術で比較的容易にキレイに治療ができます。ただ、他の悪性腫瘍（皮膚がん）と鑑別が困難なものも含まれるため、必要に応じて病理組織検査を行うことが大切です。